

谷戸の風

62

われら昭和世代

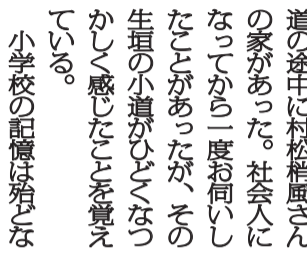
山内 静夫

私は大正十四年の生まれ。大正十五年は昭和元年であるから昭和の年代と私の生年月日は全く同じである。昭和の年代は従がって非常にわかりやすかった。

一歳の時に父が初めて自分の家を鎌倉西御門に建てた。洋風建築の大

側には鎌倉師範学校の大きな炊事場があって朝早くから賑やかだった。その炊事場の前を左へ生垣が両側にある人ひとりとすれ違えるようなせまい道が真つすべのびて東御門の存柄天神の前へ出る。そこを更に真つすべ鎌倉宮の参道を通り越すと第二小学校に出る。因みにその狭い生垣の道の途中に村松梢風さんの家があった。社会人になってから一度お伺いしたことがあったが、その生垣の小道がひびひびかしく感じたことを覚えてる。

小学校の記憶は殆どな



木版画 藤本宿

文学つれづれ

赤羽 根龍夫

長野県新野の雪祭りで、翁と囃子(ハシロ)の上で囃子(ハシロ)という。昔の写真で見る限りこの場合の囃子は明らかに老女であるが、この時、君と呼ばれる若女面のものが鼓を持って跳んで出て、二人の廻りを一周りする。振袖を着た老女はいかにも不自然であり、もとはやりの翁とこの若い女とのからみであったと想像するのも無理はないであろう。

持つのは当然であるが、それを迎える女性のほうは神を興善させ神の種を受けねばならぬ。それが各地で老女と若い女でなければならぬ。然る私はいかに時代を作るといふものを感じる。年を取った女の若い女に対する嫉妬か、若い男が力を持つようになった時代に、女たちを翁から取り返したためなのか、それとも後に儒教的制約が加わったためなのか、そこにも考えなければならぬ多くの問題があるように思われる。



新野雪祭りの君と呼ばれる「腰抱き」(中央)＝「翁そのほか」 本田安次著(明善堂書店)

先にあげた新野の雪祭りは若い女が現れる。この田遊びにはオカメの面を被り腹をかくらせた女が二人、頭に飯台をのせて出てきて、野良着を着て顔に灰を塗って代かき(田を平らにする作業)のまねをする。翁(オカメ)の手をハンサンボウ(これをハンサンボウといふ)を手まねさせる。翁はそれをまねて男根を振りまわしてオカメを追いかけける。その後、早乙女が二人出て田植えの模範をした。このように田の神を興善させて稲孕みを促進させるためには、やはり老女より若い女のエロチックな仕草の方が相応しいのである。翁のかたわらに居る女性はやはり若い女でなければならぬのである。

展覧会情報

県立近代美術館 葉山 ☎046・875・2800	アルヴァ・アアルト 一もうひとつの自然	フィンランドの建築家の 図面、家具など約300点	～11/25 1200円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	特別展 国宝鶴岡八幡宮古神宝	国宝・藤原朝御遺物、重文・源頼朝寄進状など	～10/14 400円
鎌倉文学館 ☎23・3911	鎌倉時代を読む 古典から現代作品まで	古典や太宰治などの近現代作品で鎌倉時代を辿る	10/1～12/9 400円
鎌木清方記念美術館 ☎23・6405	色づく秋、色めく秋―清方の美	《桜もみぢ》など秋の情趣を描いた作品	～10/17 200円
鎌倉市川喜多映画記念館 ☎23・2500	ミステリー映画大特集 横溝正史 vs 松本清張	二作家の映画化作品を中心に資料を展示	～12/16 300円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	出土漆器の美	鎌倉の出土漆器から中世の人々の嗜好性を探る	～12/15 300円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	西湖憧憬	西湖をめぐる禅僧の交流と15世紀の東国文化	～11/11 700円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	山口蓬春とやまと絵	初公開「昭和御大典繪巻」を中心にやまと絵を紹介	～11/25 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	藤沢・東海道の名所と名物	落合芳幾「東海道中栗毛の弥次馬」など	～11/4 無料
藤沢市アートスペース ☎0466・30・1816	Artists in FAS 入選アーティストの発表展	藤沢滞在で制作された絵画、立体、映像など	～11/25 無料
横須賀美術館 ☎046・845・1211	モダンアート再訪 福岡市美術館コレクション展	ガリ、ウォホル、草間彌生などモダンアートの名品67点	～11/4 900円
茅ヶ崎市美術館 ☎0467・88・1177	小原古郵展―花と鳥のエデン	原コレクションから240点と歌川広重らの花鳥画	～11/4 700円
神奈川近代文学館 ☎045・622・6666	寺山修司展―ひとりぼっちのあなたに	寺山の表現世界を秘書の収集した資料で探る	～11/25 600円
大佛次郎記念館 ☎045・622・5002	I Love スポーツ。ボク作家10のストーリー	大佛のスポーツにまつわるトピックスを紹介	～11/11 200円
横浜美術館 ☎045・221・0300	駒井哲郎―煌めく紙上の宇宙	版画、詩画集など約210点と関連作家作品約80点	10/13～12/16 1500円
神奈川県立歴史博物館 ☎045・201・0926	鎌倉ゆかりの芸能と儀礼	鎌倉の祭礼などで中世の宗教儀礼との繋がりを考える	10/27～12/9 900円
そごう美術館 ☎045・465・5515	清心な絵画 松尾敏男展	賞受賞の代表作など約50点紹介の没後初回顧展	～10/14 1000円



秋田県のある地方では真黒な頭巾で顔を全ておおい、目のところだけ開けた不気味な姿をしていて、これも稲が十分に熟することを、つまり黒い顔を願う共感呪術で

さて、正月の田遊びや早春の春山入りの後、いよいよ田植えになるのであるが、田植えの場、少なくとも田植えの最初の日であるサビキキの場は「神控」のマルチの齋場であって、山から神を勧請した早乙女は衣装を改め化粧をして「田の神に仕えるのである。早乙女が化粧をするのも神に仕える巫女だからで、神霊の憑いたことを表わして

若宮大路に彩りを 市民団体が花植え 鎌倉駅から若宮大路の鎌倉郵便局周辺の花壇に9月5日、かまくら桜の会(高柳英慶会長)の花植えが行われた。写真。同会が1974年から季節毎に行っている取り組みで、今回は秋の花としてオレンジ色や黄色のマリーゴールド3000株を鎌倉生涯学習センタ

JICA海外派遣の 金田さん、深水さん 鎌倉市長を訪問



JICA(国際協力機構)の青年海外協力隊で10月から2年間、南米のペルー共和国に派遣される金田青さん(25)と、アフリカのマリウ共和国に派遣される深水由実さん(23)が、9月14日鎌倉市役所の松尾崇鎌倉市長を表敬訪問した。2回の隊員と知り合い、自分もそこで仕事をすることを決めた。カスリンダ学校で算数を指導する。金田さんは派遣決定後、夏に下見に訪れたほどの使命感で臨み、深水さんは「訓練が始まるまで不安だったが、英語で教える自信が」と指導を行い、来年の野球

鎌倉朝日歌壇

香山 静子 選

直売のぼり輝く朝市はカタチイフシの大漁に湧く朝市の賑わいが目に見えるようである。この猛暑払いに欲しいと願いつつ茅の輪くぐれば青く匂えり 結句の表現が新鮮で素晴らしい。 主婦としてのよさびが卒直な表現に響き出ている。 前世から現世・来世を繋ぐと草むす墓苑の鬼灯の朱 辻堂 柳 蒼柳 歯科医師が椅子傾げる時流れるモーソアルトに集中せんとす 今泉台 下田 和夫 誇らしく面上げ開く向日葵にうつむきゆれるキスカー 岡本 鳴海 紀政 秋曇り待ちに待ったこの日和新たなエネルギー湧き出づるかも 手広 高口 道宏 孟蘭盆会集いし顔の華やかにどこか同じ血脈見せる 津 石川 昭子 はにかんで小石をくれた女の子小ニの夏の脱校する日 扇ガ谷 鈴木 久子 力瘤をためて湧き立つ積乱雲友と仰ぎあふの峰渡る 葉山町 近藤美知子 鯛い主の速度に合わせ歩く大朝はゆつくりの夕はスピード 材木座 有野裕美子

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

冬人気がなき道を歩めば月追ひ来 笹岡町 出蔵かおる 雪月花と言われる中でも月は一句にするのは難しいが、作者と月の関係がうまく収められていた。 地肺に落ちる事も呑み込む程のこら 植木 風見 玲子 いろいろな会話がながれる時ばかり 植木 風見 玲子 しょう。船ひかりで少救われたが 腰越 大川 昭子 へん夏帽子押さへて走る子の眩し 腰越 大川 昭子 若い子の清々しさ夏帽子を押さえたという表現で見事に伝わってきた一句である。 編み笠に思いを隠し風の盆 笛田 上田 満喜 風の盆は私も行ったことがあるが正にいつい風景。 打水に一陣の風生れけり 返子市 塩谷あけ子 打水で気温は三、四度下がる。一陣の表現が涼しさを呼んだ。 コスモスや母と歩いた道ばかり 材木座 有野 冬花 コスモスの可憐な風情と母と歩いた道の回想。思いが詰まっている作品。 遠く来て八十路の道や遠火火 腰越 小川 哲美 盆の入り家はぬかるむ土砂の中 岡本 鳴海 紀政 いのちある者の特権月仰ぐ 城廻 小美野京子 ぼかぼかと炊く栗はぼんぼり 岡本 森田 孝 細粒積地を片手の急ぎ足 腰越 松原 薫 繰返し鳴いていのちをさぐへ 金沢区 岩瀬 正春 盆のぼると来て掃きや井戸の水 本橋区 森田 順子 さるすべり本屋の前椅子二つ 川名 榎野あさ子 実家ごぶ柳の外れて良夜かな 鶴沼橋が岡 一色千穂子 さざれ石苔むすむす秋の雨 山名町 近藤 純 桃ふたつ匂いを放つ夜の厨 返子市 佐藤 信子 遠くより汽笛の響き響の秋 大船 添田 洋子 秋曇り待ちに待ったこの日和 手広 高口 道宏 海岸の架橋渡り夏夏変わる 材木座 羽賀 一男